

# 北区岩淵周辺地区かわまちラボ-第3回-

## 議事要旨

日時：令和8年5月15日（金）14:00～

場所：荒川下流河川事務所1階 アモアホール

### 1. 開会

### 2. 出席者

ラボメンバー：18名（座長・副座長・オンライン参加含む）

事務局（北区まちづくり推進課）：7名

オブザーバー：3名（道路公園課・産業振興課）

### 3. 議事

#### （1）第2回かわまちラボの振り返り

○現地調査実施時に説明【本編資料：1～3頁】

#### （2）現地調査について（4月18日の検証報告・意見交換）

○現地調査実施時に資料説明【まとめシート】

#### （3）空間活用について（グループワーク）

○事務局より、河川占用に関する基本的な考え方について説明

○質疑応答：

（メンバー）

- ・一時使用の届出より、河川占用（河川法24条申請）の方が難しいため、河川のオープン化により申請の簡易化につながる点、また、基本的に収益事業は認められないが、活用者が活用しやすくなる点が重要である。そのため、活用の可能性がある場所は積極的にオープン化の区域に含めていただきたい。

（座長）

- ・先ほどの河川占用許可に関する資料については、ラボメンバーに共有いただきたい。

○資料説明【本編資料：5～10頁】

○班別発表：

【A班発表】

（事務局・ファシリテーター）

- ・昼の部について、水上アクティビティの候補として、7月7日の活動では水に濡れない

種類がよいとの提案があった。また野草を使ったピンゴゲームの紹介があり、準備物が少ないため、組み合わせて実施しやすいとの提案があった。

- 夜の部については、照明等の施設があればナイトバーベキューも考えられるとの意見があった。将来的には、現場で釣った魚を調理できるとよい、とのアイデアが出た。また「水辺で乾杯」（7月7日 19時7分に全国各地の川・海・湖などの水辺で一斉に乾杯し、水辺の魅力や活用の可能性を知ってもらうことを目的とした、ミズベリング（官民連携の水辺活用プロジェクト）の一環として行われるイベント）においては、事前告知をして人を呼べるとよい、との意見があった。

#### 【B 班発表】

（事務局・ファシリテーター）

- 実施の際のターゲットについて、ラボメンバーだけとするか、ラボメンバーの関係者までを呼ぶか、一部プログラム「水辺で乾杯」だけオープンで開催するか、といった意見があった。
- プログラムについては、本編資料の内容から大きく変える必要は無いとの議論になった。昼の部については、メンバーの中で以前、あらかわ号での水上ガイドをした経験もあるメンバーがいることがわかった。アモア 3F カフェ運用においても、過去に同場所での活用実験を実施した経緯から、備品提供の提案があった。また、大学の研究成果発表に加えて、「学びの機会」として、アモアの 2F の展示を活用して、荒川の防災歴史についてもプログラムの一部として活用する提案があった。
- 夜の部については、防災炊事体験における北区材の薪の提供・活用や、シビエ、備品類の提供についての提案があった。「水辺で乾杯」においては、知り合いのストリートピアノ演奏者を呼ぶ、インターネットでの生配信など、公に開きながら、プログラムに彩を加える提案が多くあった。
- 7月7日に実施して終わりではなく、11月28日の活動に向けて、当日の様子を発信して活動に興味のある方などを巻き込むために、実施内容の録画・発信の提案があった。

#### ○メンバーより、河川敷でのイベント概要について紹介【本編資料：7頁】

- 昨年度の来場者は300名で、キッチンカー8台、アーティスト8組が参加した。今年度は11月28日に開催予定であり、ラボメンバーとコラボレーションできるとよいと考えている。

#### 【総評】

（副座長）

- オープン化の区域を決めるための、空間、メンバーの活動、運営、組織、持続性などに関する具体的な議論が進められた。具体的な話を積み重ねるプロセスを今後も継続することで、オープン化区域の意味がわかってくると感じた。

(座長)

- 最初に制度に関する話があったが、ラボではメンバーの意見を聴取するだけでなく、活動の中に勉強の時間を設けるなど、各自が持ち帰れるものがあるとよい。
- 7月7日のラボメンバー内で実証の後に、11月28日のリバーサイドフェスにおいて、かわまちラボとしての実証をどのように行うかが重要である。ファニチャーなど、新たに設置を検討している箇所に、その日は何かを置いてみて各場所からの見え方を実証するなど、視点がよかった方がよい。また11月には、まち側の視点も同時に考えなければならない。ハードをどう作るかのためのソフトの検証が多くはなるが、ラボの活動をまち側に広げるなど、まちからかわへの視点も忘れずに、戦略を考えたい。
- イベントに慣れているメンバーの意見交換だったため、プログラムに対するターゲット、予算などの実情に目を向けられた。区役所の様々な課との協力によりできることもあるため、これからも積極的に意見を出していただきたい。
- 本日の議論をもとに、7月7日の実施に向けて、準備を進めましょう。

#### (4) 誘導案内ツール導入の方向性について

○資料説明【本編資料：11～15頁】

○質疑応答：なし

#### (5) 今後のスケジュールについて

○資料説明【本編資料：16～17頁】

(事務局)

- これまでのラボの活動は、6月に開催予定のかわまち推進検討会で、現地調査の内容やアンケート内容をまとめて報告する。報告する内容は、後日メンバーに共有する。
- 6月25日(木)に、荒川下流河川事務所において、推進検討会の荒巻会長が東洋大学の学生との研究成果の発表会を予定している。時間等の詳細は後日共有する。活用につながる提案内容となると想定されるため、都合の合う方はぜひ参加いただきたい。
- 区の地域振興課の取組で、地域の様々な課題をNPOやボランティア団体などと区が協働して解決していくための政策提案協働事業を募集している。今年度募集で、かわまちづくりに関する取り組みについても対象となる。後日、詳細を案内する。
- 7月7日の活動内容については、本日のグループワークの成果をまとめ、改めてお知らせする。

○質疑応答：

(座長)

- 次の7月7日までの間に、活動は予定されていないのか。

(事務局)

- グループワークの各班の議論をまとめ、本日の成果として後日メンバーに共有する。7月7日は2班一緒にプログラムの試行をしたい。A班とB班の成果をまとめた際に、重なる部分や不足する部分が出てくると想定されるため、6月にWEB会議やオープンチャットなどで、意見交換の場を設けたいと考えている。詳細は後日お知らせする。

(座長)

- まだオープンチャットに参加されていない方は、参加いただきたい。先日の現地調査の写真やデータがアップロードされている。オープンチャットに、本日の内容の整理や、メンバーからの情報共有を集約できるとよい。ラボがある日以外にも、かわに遊びに来たタイミングなど、気づいたところをチャットいただくと、参考になる。